

避難に関する知識を身につけよう

避難するときは

町や防災関係機関からの避難に関する情報がない場合でも、危険を感じたときは、自らの判断で自主的に避難しましょう。

避難するときの注意点

- ・火元の確認、ガスの元栓を閉める、電気のブレーカーを切る。
- ・外出中の家族に連絡やメモを残す。
- ・高齢者や子どもの手をしっかり握って誘導する。
- ・できるだけ近所の人たちと集団で避難する。
- ・狭い道、塀ぎわ、川べりなど危険な箇所を避けて避難する。
- ・水害時は、足元や水の流れ、深さに十分注意して避難する。

服装

動きやすい服を着る

長袖、長ズボンを着用する

靴は底の厚い履きなれた靴を履く



ヘルメットや防災ずきんで頭を保護

リュックサック等を使用し、両手がふさがらないようにする

軍手や革手袋をはめる

警戒レベルを目安に早めの行動を！

避難に関する情報は音更町より発令を行います。

警戒レベル4までには避難を完了するよう、早期の避難行動に備えてください。

大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報	警戒レベル3	高齢者等避難 災害が起こる可能性があるため、高齢者、障がい者、乳幼児のような避難に時間がかかる人とその支援者は避難してください
記録的短時間大雨情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報	警戒レベル4	避難指示 災害のおそれが高まっているため、 全員避難 してください
~~~~警戒レベル4までに避難完了してください~~~~		
大雨特別警報 氾濫発生情報	警戒レベル5	緊急安全確保 災害が発生または切迫した状況であるため、 <b>ただちに命を守る行動</b> をとってください

## 避難時の感染症対策について

感染症が心配される中での避難所では、感染リスクが高まるおそれがあります。

感染拡大を防ぐため、**分散避難**の検討や避難時の**衛生用品の携行**についてご協力をお願いいたします。

※**分散避難**とは、自宅や知人宅、宿泊施設などの避難所以外の安全な場所に避難をすることです。まずはハザードマップで自宅が安全な区域であるかを確認しましょう。

安全な場合	安全ではない場合
<p><b>在宅避難（動かない避難）</b></p> <p>避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。自宅が安全な場所にある場合は、在宅避難をすることを想定し、飲料水や食料品、生活用水、日用品については最低3日間分、できれば7日間分を準備しておきましょう。また、うがい・手洗いの徹底や共用部分の消毒など、家庭内での感染防止に努めましょう。</p>	<p><b>安全な場所に住む</b> <b>親戚・知人宅への避難</b></p> <p>日頃からコミュニケーションをとり、災害時の避難について相談しておきましょう。</p> <p><b>車中避難場所への避難</b></p> <p>換気や運動を心がけ、エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒、熱中症などに十分注意しましょう。</p> <p><b>宿泊施設への避難</b></p> <p>避難所での過密状態を避けるため、宿泊施設が避難所として活用される場合があります。</p>
	<p><b>指定避難所への避難</b></p> <p>非常用持ち出し袋にマスク・消毒液・体温計・室内履き（スリッパ）を加えておきましょう。</p> <p>避難所に入る前に検温・体調チェックをしましょう。</p> <p>避難所に入ったら、以下のことに注意しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスクの着用</li> <li>・こまめな手洗い・消毒、咳エチケット等の徹底</li> <li>・避難者同士のスペースを確認し、密を避ける。</li> </ul>